

社 会

令和8年度 授業改善のポイント

- 1 社会科の特質を踏まえた授業を展開するために、学習指導要領を活用して単元を構想する。
- 2 社会的事象の意味を考察する場面において、児童生徒主体の学習活動の充実を図る。

身に付けさせたい資質・能力を焦点化した授業展開の工夫

【指導事例】「地域に見られる販売の仕事」(小学校第3学年) ※全6時間

ポイント1 学習指導要領を基に、単元の問題解決的な学習の流れを確認した上で、単元を構想する。

学習指導要領の「内容」[★]を[☆]のように読み替えることで、単元の学習の流れ(児童がどのように学び、何を理解すればよいか)がイメージできます。

[★] Aについて、学習の問題を追究・解決する活動を通して、(中略)できるよう指導する。

ア 知識及び技能

- ・ Bを理解すること
 - ・ Cで調べたりして、Dなどにまとめること
- イ 思考力、判断力、表現力等
- ・ Eなどに着目して、Fを捉え、Gを考え、表現すること

単元の学習の流れ

[☆] Aについて Eなどに着目して、Cで調べたりして、Dなどにまとめて、Fを捉え、Gを考え、表現することを通して、Bを理解する。

[★] 学習指導要領の「内容」は、そのほとんど(6年生歴史以外)が同じ構造で示されています。

学習指導要領解説「販売の仕事」に関する「内容」を確認します。(p37~p41)

「B」に「消費者の多様な願いを踏まえ売り上げを高める」とあるから、「消費者」と関連させながら授業を進めよう。

「F」は「人々の仕事の様子を捉え」だから、「働く人」にも意識を向けて消費者との関係に着目させよう。

授業者が構想した「単元の問い」の例

スーパーマーケットで働く人たちは、どのようにしてたくさんのお客さんを集めているのだろうか。

ポイント2 思考力の育成を図るために、児童生徒が考察する場面で「比較・分類する」「関連付ける」「自分の言葉でまとめる」などの活動を児童生徒に委ね、授業者は適切な支援を行う。

◆ 学習活動例(本時5/6)

発問や指示

◆ 調べたことを分類する

付箋紙を似ているもの同士でまとめてグループ分けをしましょう。

◆ キーワード化する

グループ分けをした内容に合わせて短いタイトルを付けましょう。

◆ 関連付ける【意味を問う発問】

働く人たちの工夫は、何のために行われているのでしょうか。

◆ 関連付ける【内容を補足する発問】

たくさんのお客さんが買い物に来ると、お店にはどんなよいことがありますか。

児童同士のやり取りを通して分類できるように、授業者が支援します。

分類した内容を基に、キーワードを考えさせます。(具体→抽象化)

キーワードの共通点を問うことで、児童の気付きからねらいに迫ります。

児童から出にくい内容は、授業者が補足して気付きを促します。

ICT 共同編集できるデジタルノート等の活用は、思考の可視化、時間の短縮だけでなく、発表が苦手な児童生徒の意見を引き出すことも期待できます。

学級の実態に応じて、事前にキーワードを示し、視点を絞った上で施設を見学する展開も考えられます。



どの工夫も全部お客さんのことを考えているよ。

お店に来る人が多ければ多いほど、商品がたくさん売れるね。

相互関係の視点に意識が向くように、板書等を工夫します。

お客さんのための工夫が、売り上げにもつながっているのか。

まとめ(例) スーパーマーケットで働く人たちは(…工夫の例…)などお客さんの様々な願いにこたえることで、たくさんのお客さんを集め、売り上げを高めようとしている。

社会科の授業力アップ! 実践した授業が問題解決的な学習になっていたかを振り返り、指導の改善につなげていきます。

資質・能力は身に付いた?

児童生徒のまとめが単元の目標につながっているかを見取り、学習の改善及び指導の改善につなげていきます。